働く喜びが、人を育て、地域をつなぐ。

一人ひとりに寄り添い、仕事と社会参加の機会を広げた 10 年



支援から生まれる、地域と法人の好循環

当事業所は 2016 年 9 月に就労訓練事業を開設しました。職員 1 名が常時 6 名の対象者を担当する専任体制のもと、一人ひとりの状況や思いに寄り添いながら働く喜びと社会参加の機会を育んできました。

環境整備から施設の修繕・清掃、そして自家焙煎珈琲事業へと活動を広げ、対象者の成長とともに新たな仕事を創出。法人の経費削減や業務効率化にも貢献し、福祉と事業活動が支え合う好循環を生み出してきました。

これからも一人ひとりの可能性を信じ、働く喜びを広げながら、人と地域、そして未来をつなぐ取り組みを進めてまいります。



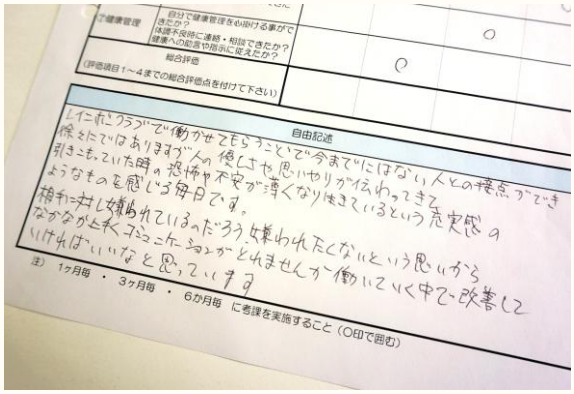
事業の歩みと対象者の変遷

立ち上げ初期（2016 年～）：生活保護受給者の自立支援からスタート

当初支援を想定していた「ひきこもり」の方々は、孤立の深さからすぐに事業へ参加することが難しい状況でした。そこでまずは、生活保護を受給する 50 代後半～60 代の高齢男性数名の受入れから開始しました。本人の意思や適性を丁寧に見極めながら、無理のないペースで信頼関係を築いていきました。

対象者の変化と現在：若年層・ひきこもり経験者の受け皿へ

初期を支えた高齢の対象者たちが自立・卒業していったことを機に、次第にかつて不登校や長期ひきこもりを経験した 20～40 代の対象者が増えていきました。それぞれの心身の状態に合わせた丁寧なステップを踏むことで、社会復帰を目指す確かな受け皿となっています。



2018年の利用者が思いを綴った日報。『今まで人から感謝されたことがなかった。ここへきて初めて人から「ありがとう」と言われたことがすごく嬉しかった。』この言葉に職員も励まされました。

対象者の変化に合わせた「作業の切り出し」と「やりがい」の創出

対象者の年齢や体調の変化、時代のニーズに合わせ、柔軟に作業内容を進化させてきました。

第 1 期（2018 年～）：敷地内の除草・環境整備（感謝される喜び）



対象者と相談を重ね、法人敷地内の除草作業を一手に引き受ける体制を構築。丁寧な仕事ぶりが評判を呼び、施設内外の修繕や特殊清掃など、法人内各事業所から依頼が殺到するようになりました。利用者や職員から直接「ありがとう」「助かったよ」と感謝される経験が大きなやりがいとなり、孤立していた対象者たちがイキイキと主体的に働く場へと成長しました（この体制が 5 年間継続）。

対象者の変化に合わせた仕事づくり

第 2 期（2022 年～）：TSUNAGU どんぐりプロジェクトと施設清掃



草刈りを担っていた高齢メンバーの卒業に伴い、若年層や体力に不安のある方でも取り組みやすい作業として、地域の里山保全を目指す「TSUNAGU どんぐりプロジェクト（育苗活動）」と「各施設の清掃作業」へとシフトしました。名張グリーンキーパーズやこども園、社協の就労準備支援とも連携し、地域に開かれた活動として定着させました。

第 3 期（2025 年～）：自家焙煎「+Neo Coffee」と B 型への分業展開



事業開始 10 年を見据え、「自主的な作業の確立」と「さらなる社会参加」を目指して自家焙煎珈琲事業を立ち上げました。 法人内の入所施設で多くの利用者が日常的にコーヒーを嗜んでいること、また法人内にパン工房や喫茶店などの関連事業があり高いシナジーが見込める点に着目しました。就労訓練のメンバーが中核となってプロから焙煎技術や品質管理を学び、生豆の選別や袋詰め・ラベル貼りなどの軽作業を「就労継続支援 B 型」に丁寧に分業（業務分解）する仕組みを構築しました。これにより、生活困窮者の社会参加・スキル習得だけでなく、B 型利用者にとっても安心でやりがいのある新たな作業を創出することに成功しています。

「累計受入れ人数 20 名 (就職・自立した人数 8 名)」



法人全体の業務効率化と支援の相乗効果

環境整備から始まり、各施設の修繕・清掃、そして珈琲事業に至るまで、就労訓練の対象者が法人内の多様な業務を担うことで、法人全体の外部委託費や経費の削減に大きく貢献してきました。 同時に、各事業所の職員が本来の専門的な支援・個別ケアに集中できる環境が整い、事業所全体の業務効率化と職場環境の改善という相乗効果をもたらしています。

名張育成会　　広報紙・ブログ　　SNS・ネットショップ

〒518-0615 三重県名張市美旗中村 2326 番地
社会福祉法人名張育成会 レインボークラブ
電話 TEL 0595-67-4188　FAX 0595-65-5233
mail rainbowclub@n-ikuseien.jp　HP https://nabari-ikuseikai.or.jp/